



護衛艦こんごう 長崎出島岸壁来港

護衛艦「こんごう」（艦長 川合元1等海佐）は、令和5年8月5日（土）から8月6日（日）までの間、長崎港出島岸壁へ来港した。

第5護衛隊 護衛艦「こんごう」は、海上自衛隊が初めて建造したイージスシステム搭載型護衛艦であり、優れた対空戦闘能力を有するとともに、対水上戦、対潜水艦戦においても、建造当時最新式の装備を導入した最新鋭艦として、三菱重工業長崎造船所において1993年に就役。30周年という記念すべき年ということもあり、14年ぶりに長崎市での艦艇公開を実施した。

入港日の8月5日（土）には、長崎防衛協会（会長 渡邊悦治氏）が入港歓迎行事を実施した。午後（14時～17時）は一般公開を実施し、速射砲や機関砲の作動展示及び自衛隊のラッパ吹奏展示を行い、また、来艦者の中には、当時建造にたずさわった方が親子3代で見学するなど造船の町ならではの盛況ぶりであった。来場者は護衛艦「こんごう」を目の当たりにし「大きい」「すごい」と護衛艦「こんごう」及び海上自衛隊への興味を深め見学している様子であった。なお、一般公開における来場者数は3時間で1305名にのぼった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も長崎県内の多くの県民の皆様、一人でも多くの志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていきます。（募集課 広報班）



■ラッパ吹奏展示



■花束贈呈



■アンケートの様子



■VR体験

対馬駐在員事務所（所長 木村裕二陸曹長）は、8月5日（土）・6日（日）「2023 厳原港まつり」において自衛官募集広報ブースを開設し、自衛隊をPRした。

「厳原港まつり」は、対馬市厳原町東里において毎年行われるイベントで、ステージイベントをはじめ江戸時代に朝鮮と江戸を往復した華やかな友好外交使節団「朝鮮通信使」行列の再現パレードなども行われ、両日とも天候に恵まれ、募集広報ブースにおいてVR体験・グッズコーナーを出展し、多くの来場者で賑わった。

また、募集対象の方々にはアンケートに答えて頂き貴重な意見を頂戴する事ができた。

今後も各種イベントにおいて、自衛隊をPRするとともに、自衛官募集広報を積極的に実施していきます。（対馬駐在員事務所）

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL 095-826-8844



長崎地本公式 HP



長崎地本公式 X (旧Twitter)



長崎地本公式 Instagram

国家を守る、
公務員。
自衛官募集中



HIRASHIMA YAKUSHIMA



掃海艇ひらしま・やくしま体験航海

自衛隊長崎地方協力本部は8月26日(土)に佐世保倉島岸壁において、掃海艇やくしま・ひらしまの体験航海のイベントに参加した。

海上自衛隊に所属する掃海艇の主たる任務としては、機雷を発見処分し、航路の安全を確保する事を任務としている小型艦艇である。イベントでは、艇長から艦艇の装備や特徴の説明があり、参加者からの「年間どれくらいの機雷の除去回数があるのか?」など沢山の質問に対して、乗員はできる限り丁寧に答えていた。

今後とも自衛隊長崎地方協力本部は自衛隊に関する沢山のイベントを企画・ご案内してまいりますので、皆様宜しくお願ひ致します。

(大村地域事務所)



■「ひらしま」艇内説明



■「ひらしま」艇長挨拶



■「やくしま」接岸の様子



長崎県任期制隊員 合同企業説明会

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)はパークヘルズ大村(大村市)において、一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部との共催により、令和5年度長崎県任期制隊員合同企業説明会を開催した。

本説明会は、長崎県内に再就職を希望する退職予定の任期制隊員を対象としたもので、隊員と県内企業との面談の場を設けて直接企業情報等を入手することで、円滑な再就職に結びつけることを目的とするものである。これは、自衛隊が行う任期制退職隊員に対する再就職支援施策の最大のイベントであり、昨年はコロナ禍に対応し規模を縮小して実施したが、今年は4年ぶりフル規格での開催で22回目となった。参加者は、公募による51社の企業と陸・海・空の任期制退職予定隊員22名が参加した。

参加隊員と企業の面談は、1回20分間を4回、フリータイム2回を含めて合計6回実施され、隊員は希望する企業ブースを訪れ、職務内容、就業時間、賃金、福利厚生等の求人内容について説明を受けつつ質問するなど、自衛官らしく節度ある態度で真剣に面談に臨んだ。今後は、面談結果に基づく参加隊員と企業のマッチングを速やかに図り、採用の調整等を促進して、参加隊員全員の来春の再就職達成を目指していく所存である。



■面談会場

自衛隊長崎地方協力本部は、引き続き任期制隊員に対する援護業務の魅力化と援護希望率の向上及び離職防止施策を含めた就職指導・職業訓練等の充実を図り、隊員が後顧の憂いなく職務に邁進できるよう就職援護希望者の希望と雇用情勢に合致した就職の援助に努めていきます。

(援護課 航空連絡幹部)



■本部長による挨拶



■熱心な面談風景





ながさき防災ひろば参加!

9月1日は
防災の日



自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、8月27日(日)長崎市役所庁舎前広場で行われた「ながさき防災ひろば」に参加した。「ながさき防災ひろば」は、9月1日の「防災の日」を前に、市民の防災意識を高めることを目的として長崎市が主催し、自衛隊、日本防災士会等9つの団体が参加した。

自衛隊長崎地方協力本部は、会場において災害派遣活動のパネル展示及び第16普通科連隊(連隊長 土肥崇紀1等陸佐)の支援を受け、装備品(高機動車)の展示を行い、家族連れを中心に約100名の見学者が訪れた。

特に、装備品展示コーナーでは多くの子供たちで賑わい、高機動車に乗った子供を記念撮影する家族など楽しそうな様子が多く見受けられた。

今回、「ながさき防災ひろば」に参加したことは、防災機関関係者及び地域の方々へ自衛隊の活動を知ってもらふ好機となった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も各自自治体で行われる防災訓練はもとより、各種防災イベントに積極的に参加し防災機関との連携強化を図りつつ、地域の方々への自衛隊活動に対する理解を深めていく所存です。

(総務課総務班)



■一般曹候補生試験 (大村農協会館)



■一般曹候補生試験 (県立大学佐世保校)

高校3年生を含む秋の採用試験開始

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、令和5年9月16日(土)から23日(土)の間、長崎県内8カ所において、令和5年度第2回一般曹候補生及び令和5年度第3回自衛官候補生の採用試験を実施した。

この9月の採用試験から高校3年生も受験が可能となり、年内で最も受験者が多い試験、かつ長崎地本として部員一丸となり力の結果が必要な一大事業である。

一般曹候補生採用試験は従来どおりの筆記試験と一部WEB試験を併用して実施、自衛官候補生採用試験は、全てWEB試験で実施した。受験者の多くは、一般曹候補生及び自衛官候補生採用試験の2種目を受験しており、受験後は、「全力でやりぬいた達成感」と「やっと終わったという安堵感」に溢れていた。

今後、12月に第3回一般曹候補生及び第4回自衛官候補生の採用試験を実施し、自衛官候補生については、更に1月、2月にも採用試験を実施予定である。

引き続き、多くの募集対象者情報の提供と自衛官を志す志願者を長崎地本一同お待ちしております。

(募集課募集班)



夏まつり

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、8月27日(金)時津ウォーターフロント公園で実施された、ときつ夏まつりに自衛官募集広報ブースを出展した。

当日は、地元中学2校の吹奏楽部による演奏や、プロレスラーとのリング体験、DJショーなど盛りだくさんの内容で、4年ぶりに時津のアツい夏が戻ってきた。

自衛官募集ブースも、背のう装具装着体験や、缶バッジ作成コーナーで大盛況!

夜の部の大玉約1,000発の花火で久しぶりの賑わいを見せた祭りは興奮さめやらぬままフィナーレを迎えた。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も長崎県内の様々なイベントに参加し、多くの若者に自衛隊に対する理解を深めてもらい、志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めてまいります。

(琴海地域事務所)

させぼシーサイドフェスティバル にて募集広報ブースを設置!

19th SASEBO
SEASIDE
FESTIVAL 2023



■南極の水展示

佐世保出張所は、今後も市内の協力団体及び市民の皆様へ自衛隊に対する理解を深めてもらい、自衛隊と市民の皆様との「かけはし」となって引き続き広報活動に尽力していく所存です。

(佐世保出張所)

佐世保出張所は、本イベントにおいて広報ブースを設置し、募集案内・缶バッジ作成・VR体験・南極の水展示を実施し、2日間で350名の来場者があり、大盛況であった。来場者からは、「南極の水を初めて触りました。」「VR体験とても楽しいです。」等の感想が述べられ、自衛隊を認知していたる良い機会となった。

佐世保出張所(所長 松本良輔1等海尉)は、令和5年9月9日(土)、10日(日)に佐世保市総合グラウンドで行われた「第19回させぼシーサイドフェスティバル」に参加した。

本イベントは、平成17年に「西海国立公園指定50周年記念行事」の一環として始まり、毎年趣向を凝らしたテーマが設けられ、市民一体となってイベントを作り上げ、今回で19回目の開催となった。



■VR体験



■缶バッジ制作



■自衛隊について説明



■表彰及び顕彰受賞者への表彰

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も予備自衛官の積極的な訓練参加を促進し、引き続き予備自衛官等の勢力確保に努めていく所存です。

(援護課 予備自班)

面総監からの顕彰者2名に対して行い、その栄誉を称えた。

また、訓練実施部隊は各種訓練検定を実施する中で、特に駐屯地警護任務に必要な射撃訓練及び駐屯地警備訓練に重点をおき、その練度維持向上を図った。



■射撃の予習に臨む予備自衛官

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、10月13日から17日までの間、第16普通科連隊(大村)が担任し、105名が参加した第4次予備自衛官招集訓練(5日間)を支援した。

自衛隊長崎地方協力本部は、隊友会講話、保全教育、「応招確認システム」登録状況確認、即応予備自衛官有資格者への志願勧誘、表彰式等を実施した。

永年勤続者に対する陸上幕僚長からの表彰者1名、地方協力本部長からの表彰者4名及び最終任期満了者に対する西部方面総監からの顕彰者2名に対して行い、その栄誉を称えた。

予備自衛官招集訓練 (5日間)を支援!



【行政職(二)6級へ昇格】
本部総務課 江嶋 真太郎

表彰 令和5年10月1日付

◆精勤章 授与者

本部 総務課

陸曹長 石橋 鉄也

陸曹長 立森 幸子

海曹長 嶋田とも子

陸曹長 本間 秀一

1等陸曹 野口 勝弘

本部 募集課

1等陸曹 峰 義隆

大村駐屯地援護センター

陸曹長 太田 昭宏

佐世保出張所

1等陸曹 納所 彰

2等陸曹 島田 雄大

大村地域事務所

3等海曹 山田 達也

島原地域事務所

1等陸曹 鬼塚 祐樹

1等陸曹 松本 かつり

長崎募集案内所

陸曹長 峰松 克也

インターネットからも
応募できます

自衛官募集 検索

募集フリーダイヤル
コールセンター

0120-063792

年中無休 受付時間
12:00~20:00

陸海空
自衛官募集